

# 波原便り 高

県立辺土名高等学校  
令和5年4月24日(月)  
発行者 校長 桃原健次

第1号

## 校長自己紹介 学校紹介

私は、本年度4月に県立辺土名高等学校校長に就任しました桃原健次と申します。これまで、沖縄本島中南部地区の高校等に勤務してきました。本年3月まで県教育委員会に3年間勤め、本校に異動して参りました。辺土名高校とは縁が深く、本校を約40年前に卒業した41期生です。本校に勤めることができ、とても嬉しく思っています。生徒の皆さんには高校生の中で多様な体験をし、多くの出会いをし、将来のやりたいことを見つけ、希望実現のため頑張ってもらいたいと思います。

本校は、沖縄本島最北の高等学校で世界自然遺産に登録された地にあります。一方で、県内で最も生徒数の少ない学校となっています。そのため、やんばる3村と様々な協議を行いながら生徒数の確保に努めています。先日、3村役場を訪ね、年度初めの挨拶を行い、村長・教育長に対応して頂きました。現在、本校には入学者の定員割れが続いているという課題に対し、生徒数の確保に向けて取り組む中で、3村からの入学者が少ないこと。3村以外の地域や県外からの入学希望者に対し寮の収容人数では足りない状況があること。学習塾などが近くに無いこと。等があります。学校だけでは解決できない課題等について、3村や県教育委員会とも連携しながら解決していければと考えています。また、環境保全に関する取組も3村や関係団体と協力していく予定です。

今年度は、新たに十一人の職員が加わりました。就任式では「動物の多さにびっくり」「山羊に体あたりで歓迎されました」「生徒のみなさんと一緒に学校生活を楽しんできていきたいです」「みなさんの夢実現を応援していきます」等の話がありました。全生徒・職員で、辺土名高校を盛り上げていこうと思っています。



令和五年度の一学期が始まりました。今年度も学校便り(波原便り)を発行していきます。波原便りでは、授業や部活動、行事等の様々な取組を掲載することで、生徒の振り返りでの活用や保護者への学校情報源として活用して頂ければと思います。生徒・職員の活動等、月に一、二回の発行を目指しています。

## 令和五年度スタート

## 令和5年度入学式

4月7日(金)第81回入学式を開催しました。保護者及びご来賓の方々をお招きし無事終了することが出来ました。ご参加頂きました保護者・ご来賓の方々に感謝申し上げます。新入生代表挨拶を行いました譜久山 迅さんから「豊かな自然に囲まれた辺土名高校で自然環境について学ぶことが楽しみ」との話がありました。私は式辞の中で「急速に進展する社会を生き抜くための『生きる力』を身につけて欲しい」と話しました。生徒の皆さんは高校生活で学習に取り組むのは当然ですが、積極的に生徒会活動、学校行事、部活動にも参加して、友人と切磋琢磨し、新たな可能性へ挑戦して下さい。

入寮する生徒については、不安もたくさんあると思いますが、悩まずに、舎監や他の先生方に気軽に相談して下さい。新入生の皆さんが辺土名高校に入学して良かったと思えるよう、学校としてもしっかりと教育活動を行っていききたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

4月10日(月)には、新入生オリエンテーションが行われ、高校入学するにあたり、基本的な心構えを理解してもらおうとともに、高校生活が円滑にスタートできるよう支援しています。

校内のなかま



新入生オリエンテーション